昭和63年10月31日発行
第一三〇号
編集発行 馬路村教育委員会
印刷 安芸印刷

広報 うまじ

9月末の人口

世帯数	566世帯
男	739人
女	731人
計	1,470人
(馬路	1,058人)
(魚梁瀬	412人)

爺ちゃんの炭窯

西川の爺ちゃんの炭窯は、
　谷川の側にある。
決して風のいい炭窯ではない。
さびたトタン板を、
　やたらにくっつけてある。
去年の台風で、爺ちゃんの炭窯は
　根こそぎ流された。
かわいがっていた鶏も、
話し相手だった犬も
　みいんな流された。
爺ちゃんは男泣きに泣きながら、
　もっと大きい炭窯をつくった。
みてくれは悪くても、
　日本一の炭窯である。
爺ちゃんの炭窯では、
　白炭をつくる。
窯に薪(まき)をくべる
爺ちゃんの手は炭(すみ)色
素朴で優しいゴツゴツの手である。
紫煙がくゆる爺ちゃんの炭窯も
　やがて初冬の色
　　に染まる。
山里の秋は
駆け足
西川の爺ちゃん
七十九才・
一国一城の
　主である。

今月のスポット

≪ 9 月 ≫

1 日	四校二学期始業式
2 日	村内中学校水泳交歓会、選挙管理委員会
6 日	リハビリ教室
8 日	馬路敬老会
9 日	行政相談、同和教育推進講座（第 3 回）
12日	健康相談
13～14日	農業委員会
14日	魚梁瀬敬老会
17日	森林研修会
18日	おしどりマラソン
19日	栄養教室
21日	家庭教育学級
27日	同和教育推進講座（第 4 回）
26～29日	村議会

≪ 10 月 ≫

2 日	保育、小、中合同運動会（馬、魚）
4 日	同和教育推進講座（第 5 回）
5 日	句会
6 日	魚梁瀬観光開発推進委員会
13日	はしけん大会（魚）
14日	中芸地区中学陸上大会
15日	健康まつり、魚梁瀬神祭
16日	村民運動会（馬）
17日	森林教室（魚中）
21日	家庭教育学級、教育委員歓送迎会
23日	村民運動会（魚）
25日	魚梁瀬温泉堀削起工式
26日	馬路慰霊祭
27日	魚梁瀬慰霊祭、同和教育推進講座（第 6 回）

フォト・フォーカス

↑ 9月6日 リハビリ教室

↑ 9月14日 魚梁瀬敬老会

↑ 9月18日 おしどりマラソン

↑ 10月 2 日 馬路合同運動会

↑ 10月15日 健康まつり

村内あちらこちら

馬路村振興計画 改訂される

（本年六月定例村議会において、馬路村振興計画改訂が議決されましたので、主要な点についてお知らせします。）

まず基本講想については、次の項目からなりたっております。

『第一章　一九八八年馬路村
　第一節―時代認識
　第二節―現況
　第三節―基本課題と対応の方向
第二章　馬路村の将来像
　第一節―「若者が定住する村」構想
　第二節―産業・経済の活性化
　第三節―文化の村
　第四節―情報化社会
　第五節―高齢化社会
　第六節―国際化時代
　第七節―自治体の活性化

構想の中での基本理念として、『馬路村は村民のみんなの願いとして、「若者が定住する村」を実現するために、村の総面積の実に九十六パーセントが森林で、しかもその森林の七十五パーセントが国有林という、日本一の山林の村の特性を生かし、「木」を中心とした産業を勃興し、

・近代文化生活を営むことのできる所得の確保
・豊かな教養を身につけ、世界にはばたく人材育成

を基本理念として、天恵の自然に生きる喜びの多い村を、村民の協同の力で創造するために、「一九八八年馬路村振興計画」を策定するものである。』となっています。

この「一九八八年馬路村振興計画」は、二〇〇一年を目標年次とし、十四年の長期的な「基本構想」、五年間の中間的な「基本計画」、及び三年間の短期的な「実施計画」によって具体化して行こうとするものです。

基本課題と対応の方向

第一章（第三節）

今後、二〇〇一年への歩みの中では、都会と地方が、高速交通網や情報網の整備によってより近くなるとともに、従来の流通機構が変わり、より以上に中央に資産が流出することが予想される。

また国の緊縮財政によって地方に対しては、予算の目的のはっきりした重要事業への傾斜配分が現実のものと成ってくると予想される。

この様な中で「若者が定住する村」を実現して行くためには、村の人々がその自然、歴史、風土を背景に、村の村民としての一体感を持ち、馬路らしい生活文化を発見し、創造して行く中で経済的に自立していく様に努める。

(一)産業・経済の活性化
(二)文化の村
(三)情報化社会
(四)高齢化社会
(五)国際化時代
(六)自治体の活性化

となっている。

馬路村の将来像

第二章の馬路村の将来像では、〝今後の地域社会はこれまで以上にそれぞれが個性を尊重し合い、地域の発展を競い合う、いわば共存と競合の時代となることが予想され、こうした時代に、よりよく適応し、また地域間競争を乗り切るに足る地域の独自性、地域特性を鮮明に打ち出した村づくりが必要とされている。

そうした中で、美しい緑と、澄んだ空気、きれいな水は、今は都会にはない山村のみに残された貴重な財産である。

本村は恵まれた自然環境を守り育て、天恵の自然に生きる村であり、そこに住む人が物質的に、精神的にともに豊かな生活を営むことのできる「若者が定住する村」を創造する。〟をめざしている。

（次のページへ）

▲三宝山から初秋の馬路村を望む

「若者が定住する村」構想

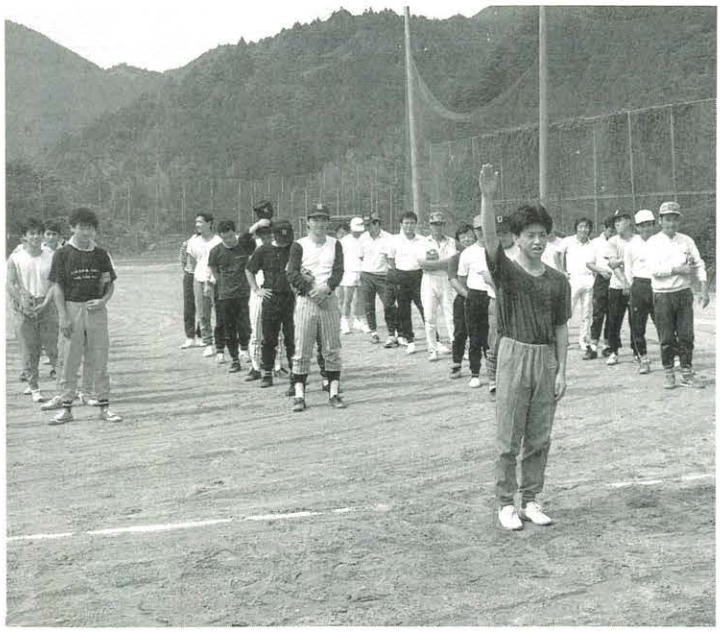
第二章（第一節）の若者が定住する村構想では、〝人（若者）は本村の根幹をなす最大の原動力である。全て村民が、時代を担う人材として豊かな知性とたくましい人間性を備え、進取の気性に富む若者を積極的に育成する。

・天恵の自然（資源）と農林業と調和する公害のない企業を導入し、魅力ある職場を創設し若者の雇用を促進し、人口の流出に歯止めをする様努める。

・新しい地域文化を創造するために日本国内はもちろん、外国との異文化にふれ、交流する体制をつくる。

・土地、水については限られた資源であり、有効な利用を図る。

・都会との所得の格差のない村を創造する。〟



▲若者が定住する村づくりを

産業・経済の活性化

第二章（第二節）

(一)地場産業の育成

本村の地場産業停滞の現状を見るに、地場産業が地場産業の原点ともいうべき地域の需要に密着した製品をあまり作っていない。

よって消費者のニーズに合った製品を作れる様に、事業の革新をはかる必要がある。この事業の革新をはかることが、自ずと地域経済の活性化や雇用の場を創り出していくことになろう。

「衣・食・住」という生活の基本をしめる全てのことが、地場産業として育っていく可能性をもっており、産業が育つことによって「地域の富」が村外に流出せず、豊かな村を創る元となろう。

よって無限の資源であり、加工技術を集約している「木」を中心とした地場産業を興すことが大きな目標となろう。

(二)産業技術高度化の推進

本村においては種々の要因から、自ら先端技術開発を進めるという点では課題も多いが、今後の技術革新の方向からすれば産業全般における技術の高度化、先端化を進めることなしには競争力を保つことは困難である。

よって農林水産業はもとより、全産業分野にわたる既存技術の高度化、先端化を進めるとともに、新たな先端技術の積極的な開発、導入、定着によって競争力の確保、向上を図ることが求められる。

(三)農林水産業振興対策の推進

林業については木材の供給、加工地域の形成を目指し、効率的な林業経営の確立と木材関連産業の充実を図り、また膨大な面積を占める国有林を積極的に活用し、営林局署との共存関係を保っていく必要がある。

農業については高所得を得られる農業を目指し、先端技術農業、高付加価値型農業の展開、農業関連産業の育成を図る。

水産業については豊かな水を利用した各種養殖産業の育成を図る。

(四)商工業振興対策の推進

商業については開放経済体制に向けて経営体質の改善、強化を図り、地域の実態に根ざしながら総合的に業種業態を研究し、その機能分担を実現するため、近代化・高度化を進める必要がある。

工業については企業精神に裏打ちされた技術力・経営力の強化・向上による地場産業の育成・強化を進めるとともに、新しい考え方の企業を村民の手で作り、育て、また地域産業関連の強化を進める必要がある。

(五)観光振興対策の推進

本村は都会が失った天恵の自然がある。

▲豊かな老後であるために

これを生かし、また自然から生まれる各種産業、産物を生かした滞在型観光を目指して行く必要がある。

文化の村

第二章（第三節）

本村の豊かな自然、生活環境や、優れた先人たちがつくり出し、育んできた有形・無形の文化風土と歴史的遺産を再評価しながら次代に継承し得る新しい地域文化を創造する。

村民の生活や地域社会の特性に根ざしながら馬路村ふるさとづくりを推進し、村が自信と誇りの持てる〝顔〟づくりを進める。

情報化社会

第二章（第四節）

(一)情報通信網の整備

(二)ソフトウェア型むらづくり

今日、多くの先進産業では、実験室における技術開発の行きづまりから、自然から多くのことを学ぶことを研究しており、これらに係わる知的労働生産者は今日、都会に集中しているのであるが、情報通信網の整備に伴い、自然に恵まれた地域で生活することが可能となってきている。

よって知的労働生産産業の育成を図る必要がある。

今回、新たな構想として、第二章（第五節）〝高齢化社会〟がある。

高齢化社会

第二章（第五節）

(一)健康増進、医療対策の推進

心と体の健康づくりは、個人や家庭の幸福のために、また本村を支える原動力である。

自分でつくる自分の健康を基本としながら、健康の増進から疾病の予防、治療、リハビリテーションに至るまで生涯を通ずる、総合的な健康管理システムを確立する。

(二)教育の充実

学校教育、社会教育全般について、生涯教育としての機会を拡充し、自主性と豊かな教養を身につけた健全なる社会人がおりなす、文化の香り高い村とする。

(三)福祉対策の推進

本村のために尊い体験を積まれたお年寄りに、老後を安心して楽しめる福祉の充実した村とする。

(三)コミュニティ振興対策の推進

国際化時代

第二章（第六節）

(一)日本の中の馬路村

これからの本村は今日までの様に、若年労働者を都市へ送り出すのではなく、本村の有する自然、歴史、文化、人情など総合的な社会的、自然的環境を生かして「日本のふるさと」として心と身体の健康、情操の函養に不可欠な場を提供しようとするものである。

(二)国際感覚の修得と交流の促進

他地域との産業、経済、文化との交流は、多様な価値観、あるいは生き方などの心の深奥に作用する思想の交流がなされることであり、本村が都市との交流を望んでいる現状では、こういう「心と心の交流」「人と人との交流」によって孤立からの脱却、閉鎖からの解放には不可欠なことである。

こういった人と人との交流、都市との交流、さらに発展して国際交流への道は、異なった民族（国家）の持つ文化に対する広い理解と寛容の心を育成することであり、反面、自国（馬路村）の歴史や文化に対し、より深い認識と敬愛の心を育成することである。

それはまた、海を隔てた世界の国々の大きな支えの中で日本が存在し、我々が生きているのだ、ということを心で受け止めることができる人間となるということで、この様な青年が本村に住めば村を創造的に担って行く大きな力となる。』

これらの構想をもとにして、「若者の定住する村」をめざした村づくりを推進してゆきたく考えておりますので、今後の計画、推進等にあたり、御意見等いただければ幸いです。（役場総務課）

▲この笑顔の絶えない村づくりを

第9回 馬路おしどりマラソン大会

早くも九回目を迎えた〝おしどりマラソン大会〟が、九月十八日の日曜日に開かれました。

今年のおしどり夫婦出場者は、百二十七組で、村内二十五組、村外百二組でした。三キロの部に百十組、五キロの部に十七組の出場があり、ゆずの実もふくらみ始めた初秋の馬路を、全員仲良く手を取りあって完走しました。

このマラソン大会は、夫婦に限られ、片方だけの出場は、もちろん、この日のために急きょあつらえた夫婦は、ゼッケンをはずされるという厳しいものです。それだけに名前のとおり、おしどり夫婦が望まれるわけで、ゴール前の百メートルは、夫婦仲良く手をつないで、ゴールしなければなりません。

大会は、暑からず寒からずの天候の中、スタート兼ゴールの温泉前広場で行われました。

まず大会会長である西野真司村長のあいさつ、続いて来賓を代表して、安芸百走会の会長である尾木文之助氏によるあいさつがありました。

その後、おしどり夫婦を代表して上治堂司夫妻による「夫婦仲良く、少なくとも今日だけは、手をとりあって走ります」のユーモラスな宣誓が行われ、清岡博之夫妻が準備体操の指導を行いました。

百二十七組のおしどり夫婦は、大会会長の号砲を合図に、温泉広場の会場をいっせいに飛び出して行きました。

マイペースでのんびり走る夫婦、上位をめざして力走する夫婦、お父ちゃんに手を引かれ、つかれきって走るお母ちゃん。お母ちゃんの姿を見失い、キョロキョロしているお父ちゃん。百組百様の夫婦の姿が展開されました。

ゴールしたおしどり夫婦は、ほてった身体を冷い麦茶でひやし、杉の箱に入った馬路寿司を味わい、温泉でゆるりと汗を流しました。

昼食後は、就業改善センターにおいて、各賞がおくられました。

（五回連続完走賞）
荒木茂・美香（安芸市）他十一組。

（長寿夫婦賞）
山崎勝利・富（中村市・百四十七歳）
安藤清勝・冨与子（高知市・百四十八歳）

（若年夫婦賞）
戸田泰史・寿香（高知市・四十三歳）

等、たくさんの夫婦が賞を受けました。

馬路を走る おしどり夫婦

（私達って、赤い糸で結ばれてたのよね。
これだと切れる心配ないわよね。
ウン・ウン。）→

←（あなた、つかれましたねぇ。おお！
この木、少し邪魔みたい。）

（ゴール！万歳　見よ、さわやかなこの笑顔）

初秋の127組の

（おおのだれた！　だれた！　だれた！）

（もう、いかん。もう動けん。）

あなたの心臓は守られているか

（その３）心臓病の予防

心臓病をひきおこす危険な因子
（動脈硬化の増強因子）

- 血液中のコレステロールが高い
- 高　血　圧
- 肥　満
- 運　動　不　足
- 糖尿病や痛風
- タバコのすいすぎ
- 貧　血

馬路村では、昭和56年１月～62年12月までに死因名、心臓病（直接死因のみでなく）で亡くなった40代～60代の人をみてみると９人居ます。そのうちあきらかに多量飲酒者が３人居ました。

馬路村では、お酒（多量）も危険な因子に含まれるのでは。

（心臓病にならないための日常生活の注意）

１．精神的ストレスをなくそう。
　　こう奮したり、怒ったりすると発作を誘発します。
２．十分な睡眠と休養をとりましょう。
３．寒さに気をつけましょう。
　　冷たい風にあたったりすると発作を誘発します。
　　寒いトイレも注意しましょう。
４．軽い運動をしましょう。（自分にあった運動を）
　　スポーツマンには、虚血性心疾患が少ないといわれています。運動する事で動脈硬化を予防するから。急に激しい運動はかえって危険です。
５．酒はほどほどに、タバコはできるだけやめましょう。
６．塩分をひかえたバランスある食事をとりましょう。
７．肥満をなくそう。
８．健康でも年に１回は健診を受けましょう

おわり（心臓シリーズ）

―― 第２回 スリム教室へのお誘い ――

昨年、好評を得ましたスリム教室の２回目を開催します。

肥満は成人病と深い関係があると言われています。循環器健診も終った事です。自分の健康結果をもとに、健康についてみんなで話し合ったり、勉強したりしてみませんか?!

日程、内容は下記の通りです。

場所：就業改善センター　一階会議室

回数	日　時	テ　ー　マ	講　師
1	11月30日(水) (13:30～15:00)	私の健康は本物か －健診と私の健康－	保健婦
2	12月６日(火) (　〃　)	肥満がまねくもの！	島崎先生、保健婦
3	12月14日(水) (　〃　)	今の私の食生活は －何をどれだけ食べてるの－	栄養士、保健婦
4	64年　未定	同上テーマ	保健婦
5	〃	これがバランス食だ！	保健婦
6	〃	できたかな?! －こんな食事になりました－	保健婦

申し込み先：役場内衛生係　笹岡（TEL ４―2111）
しめ切り日：11月21日(月)　午後12時まで
※当日は、メガネの必要な方はメガネと健康手帳を持参下さい。

▲健康を守るために活躍している食生活改善推進員さん達。

馬路村の歴史と伝説

弓射式

馬路公民館長　山中　巌

≪25≫

弓射式

一一八五（寿永四）年、平氏は壇ノ浦に滅びました。能登守平教経は、安芸太郎、次郎兄弟と組み打ちして海に入るかに見せて、ひそかに長門の国をのがれ、一族と共に阿波の祖谷を経て魚梁瀬の一ノ谷にかくれ住みました。

この地は千本山のすぐ手前にあって、三方は山をめぐらし、水の便もよく要害の土地です。現在その館跡に「能登守教経一族の御屋敷跡」ときざまれた記念碑が建てられています。

その後、一族の増加とともに水没前の魚梁瀬に移り住みました。一族は安芸大領の援助を受けながら、武術を練り時節の来るのを待ちました。しかしその機会はなく、再起の望みはなくなりました。

以降、時代の変せんにともない武術（弓射の術）は、一祭祀として旧の一月四日におこなわれるようになりました。

これが「弓射式」です。

この式典は、神人一体となって、鬼を打ち払い、里人の和と安全ならびに五穀豊饒を祈念するものでありました。

「南路志」には「例年祭礼に百手射礼有り」と記され、「門脇家系図」には「年の始め射術の式ありて歳々之を修行す」と記されています。

現在、弓射式については、古文書が残されています。教経の子孫と伝えられる門脇家の一族門脇宇兵衛が記した「弓射式記帳」です。

しかし、この「記帳」も当時のままのものでなく、藩政時代から明治にかけて何回か改変されたものではないでしょうか。

「弓射式記帳」によって、古式次第を次に記してみましょう。

一、門脇首領並に谷井、中屋から一人あて出て相勤める

二、百姓代表として二名が交替して相勤める

三、当人が射場、借屋そのほかの準備をする

四、弓場へ行く前、また式が終了したあとで祝盃の儀式がある。

五、弓を射る次第は、的を三度射て座にもどり、およろこびをする。二度出て、三度射て弦巻きをする。座にもどり、また出て三度射る。そして座にもどる。

六、射場に出た場合、射手の礼、的手の礼がある

七、千八本の矢数を射納める。不足の数はカヤの矢をあてる。

八、まとふみの儀がある。

九、的は杉、檜の柾目をへいで網代に三尺三寸角に作り、鬼の文字を書く。また九字を四すみに入れ、鬼の上に☆印を加える。

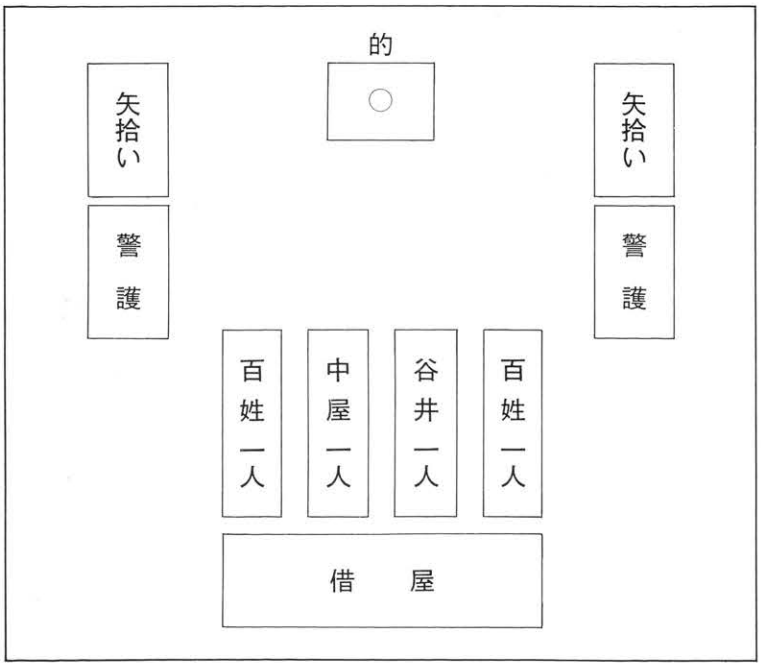
十、借屋のお祝いがある。

十一、弓射を勤めた者は、来年使う的を準備する。

なお、式が終ってのち、里人は競い合って的をうばい、破片を持って帰り、自宅の門へ飾るという風習が伝えられています。

（左図は、弓射式〝的〟などの位置）

▲復活して四年になる魚梁瀬　弓射式



村内中学校 第14回 水泳交歓会

九月二日、第十四回、村内中学校水泳交歓会が馬路においておこなわれました。

女子五〇メートル自由形と女子五〇メートル背泳において、魚梁瀬中三年の内原美穂さんが大会新記録を出しております。本大会結果は次のとおりです。

第14回村内中学校水泳交歓会記録一覧表

男子50M 自由形

1.	大野　康二	(ウ3)	33″8
2.	湯浅　雅喜	(ヤ3)	34″0
3.	小原　健	(ヤ2)	34″5
4.	家野本孝志	(ヤ2)	34″8
5.	井上　貴文	(ヤ2)	35″0
6.	内原　章照	(ヤ1)	38″6
7.	林　義人	(ウ1)	39″4
8.	浜口　直樹	(ヤ3)	39″7
9.	川田　琢磨	(ヤ3)	40″3
10.	笹岡　卓洋	(ウ1)	41″4

女子50M 自由形

1.	内原　美穂	(ヤ3)	36″6(大会新)
2.	乾　沙織	(ヤ2)	40″1
3.	五味　里加	(ウ3)	42″4
4.	中屋　容子	(ウ2)	43″6
5.	湯浅友紀子	(ヤ1)	44″0
6.	手島　香織	(ヤ1)	44″5
7.	山本真奈美	(ウ1)	45″9
8.	清岡　智子	(ウ1)	47″5
9.	西野　百絵	(ウ2)	47″8
10.	伊吹　文香	(ウ2)	48″7

男子50M 平泳ぎ

1.	小原　健	(ヤ2)	46″7
2.	笹岡　卓洋	(ウ1)	47″3
3.	林　義人	(ウ1)	50″5
4.	湯浅　雅喜	(ヤ3)	50″9
5.	山中　尚之	(ヤ2)	54″0
6.	内原　章照	(ヤ1)	55″3
7.	浜口　直樹	(ヤ3)	55″3
8.	五百蔵　隆	(ヤ1)	56″4
9.	小原　進	(ヤ1)	57″5
10.	中　健	(ヤ2)	1′02″5

女子50M 平泳ぎ

1.	湯浅友紀子	(ヤ1)	49″0
2.	乾　沙織	(ヤ2)	50″3
3.	中屋　容子	(ウ2)	53″3
4.	川田　由起	(ヤ1)	54″0
5.	伊藤　美央	(ウ3)	54″2
6.	五味　里加	(ウ3)	1′01″9
7.	山本真奈美	(ウ1)	1′03″4
8.	伊吹　文香	(ウ2)	1′04″4
9.	清岡　智子	(ウ1)	1′04″9
10.	乾　恵美	(ウ1)	1′15″6

男子50M 背泳

1.	川田　琢磨	(ヤ3)	47″7
2.	大野　康二	(ウ3)	47″7
3.	家野本孝志	(ヤ2)	48″1
4.	広瀬　忍	(ウ1)	1′15″6

女子50M 背泳

1.	内原　美穂	(ヤ3)	47″4(大会新)
2.	手島　香織	(ヤ1)	51″6
3.	西野　百絵	(ウ2)	57″2
4.	川田　由紀	(ヤ1)	1′03″8

男子 100 M 自由形

1.	井上　貴文	(ヤ2)	1′27″8
2.	新居　誠司	(ヤ2)	1′34″1

男子25M バタフライ

1.	新居　誠司	(ヤ2)	18″3

男子75M 三種メドレーリレー

1.	馬路中	59″1
	(大野康二，笹岡卓洋，林　義人)	
2.	魚梁瀬中	1′04″0
	(山中尚之，井上貴文，川田琢磨)	
3.	魚梁瀬中	1′06″0
	(内原章照，五百蔵隆，小原　進)	

女子75M 三種メドレーリレー

1.	魚梁瀬中	1′05″5
	(湯浅友紀子，手島香織，川田由紀)	
2.	馬路中	1′09″1
	(伊藤美央，五味里加，山本真奈美)	
3.	馬路中	1′10″1
	(西野百絵，中屋容子，伊吹文香)	
4.	馬路中	1′31″0
	(乾　恵美，清岡智子，式部玲佳)	

男子 200 M ベストリレー

1.	魚梁瀬中	2′21″8
	(小原　健，家野本孝志，井上貴文，湯浅雅喜)	
2.	魚梁瀬中	2′48″7
	(新居誠司，中　健，浜口直樹，川田琢磨)	
3.	馬路中	3′01″6
	(林　義人，笹岡卓洋，広瀬　忍，大野康二)	

女子 200 M ベストリレー

1.	魚梁瀬中	2′51″7
	(手島香織，乾　沙織，内原美穂，川田由紀)	
2.	馬路中	3′15″9
	(西野百絵，式部玲佳，中屋容子，五味里加)	
3.	馬路中	
	(伊吹文香，乾　未来，清岡智子，山本真奈美)	

おめでとう 金婚式

馬路では、今年二組の御夫婦が金婚式を迎えられました。

長かった五十年、又、短くも感じられたでありましょう五十年間、その半世紀を、共に喜びをわかちあい、手をたずさえ、支えあってきた二組の御夫婦に、インタビューしてみました。

久保貞勝さん（75才）・静さん（72才）御夫婦

急な訪問ながら、快く迎え入れて下さった御夫妻。七十五才とは思えぬ貞勝さんは、まだ青年のような若さがにおいます。

笑顔の静さんは、ふくよかな〝おふくろさん〟のイメージです。

「生まれかわっても、又、今のご主人を選ばれますか」の質問に、「苦労ばっかりでしたが、又…」と言葉少なに答えて下さいました。

黄金色に実をつけ、頭をたれる稲穂の前で、カメラのシャッターを押しました。

お二人の姿と、みのりの季節を迎えた稲穂が、重なって目にうつりました。

お二人の、かわらない御健康と御幸福をお祈りします。

伊吹茂幸さん（76才）・千鶴子さん（70才）御夫婦

「五十年は長かったねぇ」と千鶴子さん。

「五十年の間で、一番たいへんだったのは、何と言っても戦争だった」と茂幸さん。二度も戦地へ。

一度は結婚してまもなく。二度目はご長男がやっと、歩き出した頃とか。「寂しくなかったですか」の質問に、「それがあたりまえの頃だったし、心の準備ができていたからねぇ」と、遠く、記憶の糸をたどるようなまなざしの奥さん。

四人の男のお子さんに恵まれ、今や、悠悠自適の生活。

底抜けに明るい千鶴子さん、品のいいご主人。「生まれかわっても又、今のご主人を？」の質問は聞くだけ野暮でした。

商工会だより

商工会婦人部は、部員数の少ない小さな集まりの部会です。活動の一つに青年部と合同で行う馬路温泉まつりのビアガーデンがあります。この利益が活動源になっておりますが、利益の一部を少しでも役立てたく、商工会駐車場の花壇に少しずつ花を植えております。花香る村づくりをめざして頑張ってゆくつもりです。

中村重信さん 教育委員を勇退!!

（中村重信さん）

前教育委員長、中村重信さんは、本年九月三十日をもって、任期満了となったため、教育委員をご勇退されました。

中村さんは昭和四十九年三月から四期十二年六カ月（一期目は前任者の残任期間）、その期間すべてを委員長として、馬路村教育の振興にご尽力されました。

「長い間、要職にあったというだけで何もできなかったが、思いがけず、教育界の多くの方々と面識ができたことが大変嬉しい。」と控えめに辞任の弁をのべられています。長い間、ほんとうにご苦労さまでした。

なお、後任に岩城弘高さんが任命されました。

又、十月十二日の教育委員組織会において、委員長に南磨煕さんが互選されました。

教育相談所だより 青少年の現状

大部分の青少年は、今、豊かさの恩恵に浴しながら健やかに成長しつつあると言ってよいでしょう。しかしよく子供の情況を見つめると、多くの問題をかかえつつあることも事実です。

その第一は、言うまでもなく非行や登校拒否、家出、暴力行為、自殺などの反社会的、非社会的な問題行動に走る子供たちが増加していることです。

第二の特徴的傾向は、子供らしい活気がなく、何となくひ弱な子供が増えていることです。野外で元気に飛びはねて遊ぶ子供の姿が少なくなりましたが、最近は何か道具を与えられないと遊べない子供さえ出てきました。そして簡単に転んだり、少し激しい運動をさせると、すぐ疲れたと連発するなど困った症状になる子供が増加しつつあるのです。

第三の特徴は基礎的な生活能力に欠ける子供たちが増えてきたことです。針に糸を通して裁縫したり、小道具を使って物を修理したり、そういうごく基本的な生活技術が殆んど身につかないまま大きくなろうとしているのです。

第四の特徴は、身体と心の発達が極端にアンバランスになりつつあるのではないかという心配です。

子供たちの身体は、体格、体力、体位ともすばらしく立派になり、欧米の子供たちと比較してもそう見劣りしなくなりました。しかし心の成長は逆に遅くなったのでは……と心配です。

例えば欲望や不満に耐える心、超人間的なものを怖れる心、親や教師、先輩に対し敬意を表わす心等、いわば子供たちの自立の基礎となるような心が望ましい形で成長していないような感じを拭い切れないのですが、いかがでしょうか。

第五の特徴的傾向は、他の人に対する思いやりの心が薄くなってきていることです。

子供の頃から個人生活優先の考えを持った者が多く、社会のことなどに関心を持ち、それに貢献しようとするような子供たちが年々少なくなっていることです。つまり社会化の遅れが目立ってきつつあるのです。

このような情況はいささか心配になるわけです。

資料　三つ子の魂百まで

所得税第二期分の納期は 十一月三十日まで

税金いろいろ

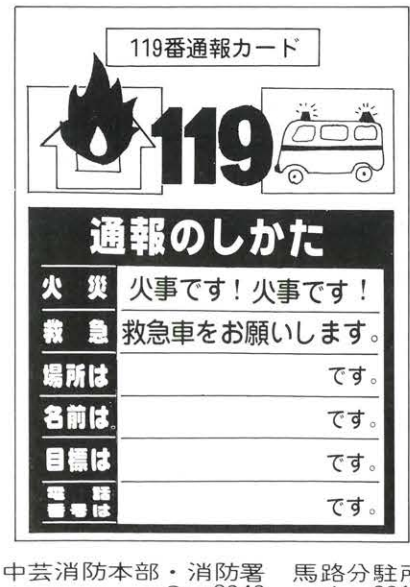
所得税の予定納税第二期分の納税をお忘れなく。納期は十一月一日から十一月三十日までです。振替納税を利用している方は、納期限（十一月三十日）に指定の金融機関の口座から自動的に納付されますので預貯金残高の確認をしておいてください。その他の方は納期までに最寄りの金融機関などで、納めてください。

なお納期限までに納税されない場合は、年十四・六％（一月三十一日までは年七・三％）の割合で延滞税がかかります。

十一月二十六日～十二月二日は 秋の全国火災予防週間です。

火の元には、十分な注意をして下さい。

「その火　その時　すぐ始末」



中芸消防本部・消防署　8—2643

馬路分駐所　4—2210

お知らせコーナー

雇用保険は正しく受けましょう

（11月は雇用保険不正受給防止啓発月間です。）

雇用保険の失業給付は、失業した労働者の生活の安定を図り、再就職を促進することを目的としています。

ところで『一部にいつわりの申告』をして失業給付金を不正に受給する者が跡をたたず、社会的公正を欠くとともに、保険財政にも悪影響を及ぼしています。

雇用保険制度を正しく運用するため、労働省では不正受給の防止と摘発のため全国的に取り組み、失業給付金を正しく受給する運動を行っております。

不正受給とは

○就職（パート・アルバイト・試用期間も含みます。）した事実を隠したり、働いた日数や採用年月日を偽って申告する。

○内職や手伝いをした事実及び収入を隠したり、偽って申告する。偽りの記載をした離職票を提出する。

○離職証明書など各種の証明書を偽造または改ざんして提出する。などの不正な手段により、失業給付を受けようとすることです。

不正受給防止について事業主の方へ

○従業員の採用にあたっては、雇入年月日等を正確に届出してください。

○従業員の離職にあたっては、離職票に離職年月日、賃金、離職理由等についても正確に記載してください。

不正受給は「みつかったら返す」ではすみません。

○不正に申告した日以降支給停止します。

○不正に受領した金額は全額返還して頂きます。

○不正に受領した金額とは別に同額の納付命令に基づき、返還させる場合もあります。即ち二倍の返納になることもあります。

不正に受給した金額は直ちに納めないと延滞金がかかり、返納を怠ると財産の差押が行われることがあります。

また、詐欺罪などにより処罰されることもあります。

農事用の電気設備は完全に

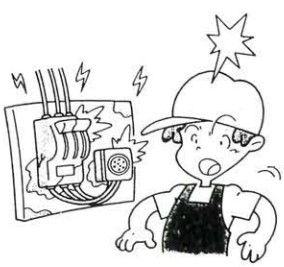
温室、ビニールハウスの中は湿気や水気が多く、電気機械器具は絶縁が悪くなって漏電する恐れがあります。

このため、湿気、水気がある場所の電気機械やスイッチなどは防湿形のものを、コードも防湿コードやゴムタイヤキャップコードなどを使用しなければならない規則になっております。

さらに、漏電したときすぐ、電気を自動しゃ断して漏電や感電を防ぐ漏電しゃ断器の取り付けも義務づけられております。

農業用の電気設備で、素人が臨時配線や仮配線などをして、使用しているのをよく見かけますが、危険ですから絶対にやめてください。

電気工事店に依頼して、すぐ安全な設備にしましょう。



高知県共同作業場縫製品展と即売会のご案内

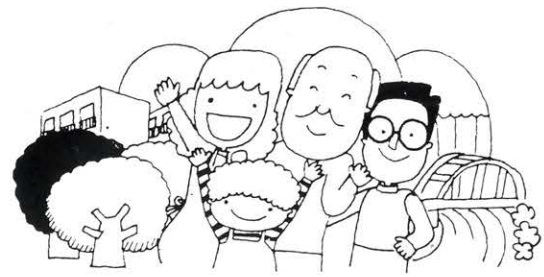
と　き　昭和63年11月19日(土)午前11時半より
　　21日(月)午後2時まで
ところ　高知商工会館　高知市本町一丁目
品　目　ジーンズ，ブラウス，ニット，
　　婦人服，子供服他

対象地域の人々の働く場を保障するため，県下市町村に共同作業場がつくられています。

この度，活躍するそれらの縫製作業場と，その製品の紹介，そして同和対策事業として取り組んでいることを広く県民に知っていただくため，縫製品の展示と即売を行います。

多数の皆様のご来場をお待ちしております。

つくるページ のびっこぼ



昔はコボテ・今ファミコン

岩城弘高

『スズの段（イモ畑）で、次々出て来た猪をドンと撃ち、またドンと撃ち、とうとう六匹撃ちました。猪とるのはしよいもんです。』

これは、私が小学校時代、初めての綴り方で書いたもので、担任の先生に、そんなウソは書かれませんと、朱記されたことを思い出します。

こんな私ですが、この度、大先輩中村重信さんのご勇退により、教育委員に任命されました。

私は、教育行政について、全く素人で、皆様ご承知の通り、平凡な一村民です。これを機会に勉強していきたいと思います。

新しい橋が架かり、新しい林道が出来、日々具体的に表れるのとは対照的に、教育は長い年月と反復ではないかと考えます。

私達の子どもの頃は、冬はコボテ、チャンバラ、夏は金突きで遊び、私を含めて多くの子どもは、青バナを出し、両袖はピカピカスタイルでした。

自分の足を頼りに、遠くは、土川、河平、宿ノ谷から元気に登校している友もいました。

現在の子どもは、随分スマートになりました。

アポロ月面着陸も、スペースシャトルも、複雑な数値を素早く演算出来るコンピューターを考えますと、子ども達の遊びが〝コボテからファミコン〟は、時代の移り変わりと感じています。

しかし、汗をかく大切さは昔も今も変わりないと思います。

大人が友釣り大会で腕を競い合えば、子どもも恵まれた清流で、金突き大会を!! 取れた魚の料理は女子が受け持つのもいいですし、食事時には、逃した魚の大きさを話題にし、悔しがるのも楽しいことでしょう。

また、そんな遊びを通して、マナーの大切さも分かると思います。

最近、児童生徒も少なくなりましたが、前と比べて児童生徒は半分になったと思うより、まだ半分いると考え、馬路、魚梁瀬だからできる、馬路村でなければできない特色ある教育をめざし、村民皆様の英知をお借りし、ご父兄のコンセンサスを得ながら、二十一世紀を担う子ども達のために、微力ではございますが、努力していきたいと思います。

どうかよろしくお願い申し上げます。

新しく教育委員に任命された岩城さんは、多年に渡り村社会体育の振興に寄与されてきました。これからも家庭、学校、社会教育三者の連携を密にすると共に、生涯教育の観点にたった御指導を、お願いいたします。

馬路・魚梁瀬俳句会

清　子
研修に発ちし夏空雨を呼び
夏の夜の星を見つめて深呼吸

千鶴子
会う度に孫に似し女夏帽子
指切りの友の背老けぬ鳳仙花

うた子
日盛りの空焼くような暑さかな
すがすがし百合に見入りて歩きけり

喜美栄
幼な友尋ね歩いて桐一葉
富士登山焼印終る杖二本

眸
敗れし日異国に蜻蛉みしこと
うろこ雲端近く居る形見分け

雅　子
夏草や母の影あり匂いあり
一本の桑の木木ははの影

百合子
夕焼ける温泉風呂に誰と行く
夏の霧菩薩の守る薬壷

浪　江
母逝きし病院の前カンナ燃ゆ
初なりの南瓜重たき垣根かな

善　心
俄か雨追い追い帰る晩夏かな
久々に聞く古都の雨雷太し

麗山子
ちぎり絵の指しなやかに夜の秋
石みなが仏に見ゆる晩夏光

みんなで村民

実りの秋

五月二十六日に岩城義喜さんの御好意により、馬路小二・三年生が田植えをしましたが、秋晴れの十月四日、みごとに穂をつけた稲を刈り取りました。

田植えも生れて初めてなら、もちろん稲刈りも生れて初めての子ども達がほとんど。

かまを持つ姿は危なっかしく「ああ危い、ああ、そっち向いて刈ったらいかん」と担任の篠原先生の声がとびます。

見るに見かねた岩城さんの奥さんが「もう、私が刈っちゃお」と、かまを持って稲穂の中へ入ります。それを御主人の義喜さんがおさえて「子どもにさせなあいかん」見ている方も忍耐がいります。

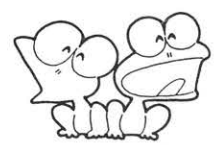
その光景をカメラにおさめていた校長先生、

「こうやって刈らなあいかん」と、ぐっとお腰を落して、昔とったきねづか、サクサクと手ぎわよく刈り取ってゆきます。刈り取った稲は、すぐ前の川原に運び出して稲束づくり。てんやわんやの貴重な体験をしました。お米は後日、飯ごう炊飯でいただくそうです。

こりゃあなんぜよ

十月五日、下田静雄さんがミョウガ畑で見つけたもの。外はまったく普通のミョウガ。花芯が三方に広がり真赤で硬い。その中にスズランのような白い袋が五個。袋の中には米つぶ状の黒い種が一個ずつ。秋ミョウガの変形？

ガマのちゃちくり



黄金色の稲穂が頭を垂れるさまは、えいのう。農家のおんちゃんが、汗水たらして育てた稲が、わしの力だけで育ったというように、ツンと空を向いてふんぞり返っていたら何の感動もないがじゃあが、〝実るほど頭を垂れる稲穂かな〟じゃなあ。おごった人間にじっくり見せたい姿よのう。

この時期になると思い出される男がおる。走ることに賭けちゅう男でのう。ありゃあ神祭に呼ばれての帰りじゃった。わしの乗った車のヘッドライトに照らし出された姿があった。奥方と息子と三人で、仲むつまじゅうにジョギングをしゆう、えい光景じゃった。走る姿のきれいな人で、ピッピッと足を高うにあげてのう。

まだ一働きも二働きもできる男じゃったのに、人生のゴールを駆け足で抜けていきおった。親よりも早うになあ。

それから、わしもう一人忘れられん人がおる。えい女じゃった。小さい人じゃったが、心のまあるい優しい女で、ずいぶん助けてもろうた。足がむくむく言うて、病院通いをしよったが、とうとうなあ。

わし道端で彼女の棺を見送った。小さい人が小さい小さい棺におさまってのう。手を合わせながら、わしゃあ泣けて泣けて。えい人は早死にするがじゃろうか。人の一生もガマの一生も、はかないのう。

短うてもこんな他人の心に残る生き方をしたいのう。(ガマ)

赤ちゃん万歳!!

今月は二名の愛らしい赤ちゃんに登場願いました。何てたって、あんたが王様。泣いても笑っても、あんたが王様ですね。将来の馬路村をしょって立つ限りない可能性を持ったこの赤ちゃん達に明るい未来あれ!!

前田　未耶美（みやび）ちゃん

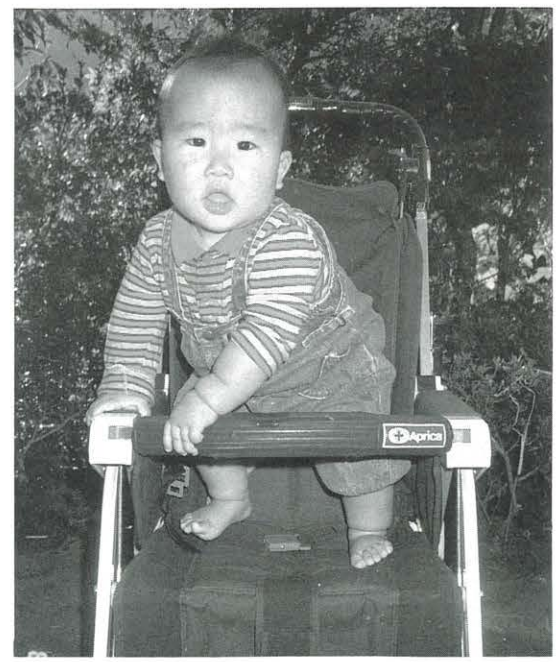
昭和62年12月10日生(日浦)

前田博志さん・紀子さんの長女です。とっても元気で食欲旺盛な未耶美ちゃん、保育園に行っているお兄ちゃんを泣かすこともあるんですって。「二人目のせいか、女の子のせいか、手がかからなくて育てやすいです」とは、紀子ママ。

田中　晃（ひかる）君

昭和62年12月17日生(影)

田中富二夫さん・和恵さんの二男です。「ぼく、御飯なんかお兄ちゃんの倍ぐらい食べるんだよ。お兄ちゃんの髪引っ張って泣かすから、パパもママもびっくりしてるよ。虫に興味があるんだ。末は昆虫博士だよ、よろしく!!」



ご出生おめでとうございます

父	母	赤ちゃん続柄	生年月日	部落
甫木　康徳	成子	隼貴	長男	63・9・13	影
山中　裕人	真生	冴	二女	63・9・27	〃
内原　博信	小百合	健太	二男	63・9・28	〃
八木　孝順	幸	由乃	長女	63・10・5	〃

ごめい福をお祈りします

氏名	性別	年令	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
新居カツ子	女	82	63・10・4	保	母	魚梁瀬
村上　鶴亀	女	78	63・10・16	本人		影

募集

『村民のひろば』では、村内在住の方に限らず、村外で生活しておられる馬路出身の方々のお便りを募集しております。原稿用紙二～三枚程度で、日頃、馬路について思うこと、外から見た馬路村、体験談、社会参加して感じたことなど題は自由です。最近とった写真といっしょに、教育委員会広報係まで送って下さい。『村民のひろば』に掲載し、村民の方々のコミュニケーションの場にしたいと思っております。

編集後記

今回の広報は、いかがでしたか。年齢の違い、男女の思考の違いを越えて、誰もが親しんでくれる広報であることを、めざしているのですが、なかなか思うにまかせません。たくさんの行事、出来事、お知らせの中から何を選択するか迷わされるところで、一三〇号は以上のごとくなりました。灯火親しむの候、枕元において開いていただければ幸いです。次号は一月発行予定です。（教育委員会広報室）